

教育予算でのフロイス・ザビエル

1400万円3D像作成中止を求める申し入れ

本年5月15日の新聞は「エンゲル係数急上昇中 食品値上げ、収入増えず」の見出しで、「家計の支出に占める食品の割合を示し、高くなるほど生活が苦しいといわれる『エンゲル係数』が日本で急上昇している。」と報じています。

総務省家計調査は本年3月のエンゲル係数（二人以上世帯平均）は24.5%。3年前の21.9%から2.6ポイント上昇。年収333万円以下は3年前と比べ4.2ポイントも高い29.9%、3月に30%に迫ったのは31年ぶり。一方で「実質賃金指数」は4年連続低下。と分析しています。

エンゲル係数の急上昇は当然ながら岐阜市民の家計でも教育費の低下へと影響を与えていると思われ、全国的に論議の高まりを見せている「給付型奨学金制度」も国民、市民の生活困窮がその背景にあると考えます。

そのような時、岐阜市民には市教育予算については費用対効果をはじめ、その用途に対し厳しい目があります。市教育予算に信長公450プロジェクト・フロイス像ザビエル像複製制作費が28年度29年度2カ年で2100万円余の内28年度630万円が計上されています。機械製造による製品とのことであります。市教育予算2100万円余で複製品を作成する必要性も意義も理解出来ません。

信長公450プロジェクトは企画や観光予算で構成されるべき事業であり、どうしても高額な像が必要であるなら商工会議所など産業界の力を要請すべき事業です。また、金額的には像ではなく、フラッグ等に変更することも考慮すべきです。

よって、市教育予算を使用しての2100万円余のフロイス・ザビエル3D像作成を中止することを申し入れます。

平成28年5月19日

岐阜市議会 無所属クラブ

岐阜市議会 日本共産党 市議団

岐阜市長 細江 茂光 様

